

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 熊本シティエフエム

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		「地域密着」・「市民参加」・「防災」をスローガンに、24時間態勢の放送局としての社会的使命を社員全員が共有している。業務にあたっては、フレックスタイム制の導入等、「働き方改革」と両立しながら遂行している。										8	9										17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		就業規則に基づいた業務を行うことはもちろん、社員全員にコンプライアンス研修等を実施し、法令遵守に対する意識の向上に努めている。																			16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		業務にあたっては、独占禁止法等、法令を遵守し、不正に関与しないよう、社員に周知徹底している。													10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		当社の企業活動自体はもちろんのこと、放送等を通じて、社会における健全な企業活動や、環境保護意識を啓発する業務を行っている。その遂行にあたっては、「まちづくり推進部」部長を責任者とし、組織の活性化の為、体制の見直しを定期的に行っている。																				16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		業務の性質上、様々な知的財産を取り扱う為、その利用にあたっては、法令遵守や権利の尊重等、細心の注意を払うよう、社員に周知徹底している。									8.2 8.3	9											
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定める等、個人情報に関する管理規程の遵守を徹底している。																				16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		放送業務や営業業務を通じてステークホルダーと積極的に対話することで、自社活動が社会全体へ及ぼす影響を把握し、業務の改善へ活かすよう努めている。																			16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5					8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		熊本市との「災害緊急放送協定」等、災害時に市民の命を守る放送局としての使命を常に意識し、熊本市の災害等緊急放送局としての体制を確立している。BCPを基に、訓練や見直しを行っている。											9		11		13.1				16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●													8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		物品発注にあたっては、そのバックグラウンドに関する情報を収集し、選択できる場合はフェアトレード商品を調達するよう努めている。	1	2				5					8				12	13	14	15	16	17	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 熊本シティエフエム

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		全ての雇用形態において、公正であるよう体制を構築し、意識を向上している。また、弊社社長が熊本市人権啓発市民協議会副会長を拝命する等、社を挙げて人権啓発に取り組んでいる。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		毎週月曜日の朝礼時に、事故防止について周知徹底している。			3						8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		全ての雇用形態において、賃金などに不合理な差をつけないよう、制度の整備、対応を行っている。					5.5				8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		仕事と家庭、趣味等の生活の両立＝「ワークライフバランス」の実現を目指し、有給休暇の積極的な取得を促進するほか、特別休暇については100%の取得を徹底している。			3		5.5				8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		職務と役割に応じたOJT研修に加え、外部の専門機関における研修を併用し実施している。				4	5.5				8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		適宜、従業員の悩み、メンタルヘルス等に注意を払い、相談しやすい人間関係の構築を目指している。			3						8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		多様な人材が十分に活動できるよう、規程の見直しや労働環境等の整備を行っている。				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		オフィス内の定期的な換気や、通勤途上およびオフィス内での密を避けるための時差出勤、テレワークやWeb会議等必要に応じて導入している。			3						8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		環境保護の観点や「新しい生活様式」への適応のため、業務のペーパーレス化、オンライン化等により効率化を進める。									8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。	●					3	4					8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 熊本シティエフエム

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		毎週月曜日は全社員でオフィス内の清掃を行い、廃棄物について分別を徹底するとともに環境意識啓発に取り組んでいる。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		自社の電力エネルギー使用量を把握し、電力使用量の削減の為、不要な照明のOFFや、エアコンの適切な温度設定に留意している。また、昼休み中は業務スペースを全消灯している。							7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		こまめな消灯、エアコンの適切な温度設定等、消費電力の低減はもとより、公共交通機関の利用や徒歩、比較的燃費の良い社用車(原付バイク)の導入等、温室効果ガスの排出量を把握し、抑制に努めている。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		街なかの清掃活動の実践や、オフィス内での植物の栽培、生物多様性に配慮した製品の選択等を行っている。					6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		可能な限り廃棄物を削減し、例えば使い古したタオルは清掃用雑巾に使用する等、廃棄する場合には適切な分別を行うことでリサイクルを促進し、再利用できるものについては、それを必要とする個人もしくは再販業者へ譲渡している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		トイレ・手洗い・洗物等において節水を心がけることはもちろん、環境に配慮した洗剤の使用を行い、水質保全も意識している。また、2022年に熊本で開催される「アジア・太平洋 水サミット」に関する広報に携わる等、水資源の保全の啓発に取り組んでいる。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		リサイクル素材や非プラスチックを用いた製品の選択、プラスチック製品の利用削減等に努めている。											9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2			6.4									14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7			13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●															12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●		公共交通機関の積極的な利用、比較的燃費の良い社用車(原付バイク)の導入等を行っている。										9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 熊本シティエフエム

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		「電波は国民の共有財産」という認識の上で、使命感に基づいた放送を行っている。			3.9						9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		すべてのリスナー・ステークホルダーに対して、平等かつ公平な放送を行うよう留意している。									9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		熊本市域の各校区における地域活動の広報や、活動への参画等を通じ、地域社会の活性化を図ることはもちろん、「災害放送局」としての役割も担い、平時および非常時において、地域社会へ貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		熊本市との「災害緊急放送」の協定に基づき、災害が予想される場合や発生時の対応を迅速に行うことはもちろん、平時より災害への備えについて、放送を通じて広く市民に周知を図っている。				4							11.5		13.1			16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	「災害放送局」としての使命に、より応えられるよう、ほとんどの社員が「防災士」の資格を取得しているか、取得を目指している。	1.5			3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	環境問題、人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、放送を通じて、広く一般にSDGsの普及啓発を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	職場体験学習や、インターンシップを積極的に受け入れ、充実したカリキュラムに基づいて、若い世代へ有意義な学びの機会を提供している。				4					8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6										17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。